

特1
2921



国立国会図書館 タイトル『花壇地錦抄 6巻』 請求記号 特1-2921

ガラス使用

見花 初中 花の形を
彩のふさふさして

一丈人草 中 花の形を
一丈二丈人ついで

おかくら 中未 花の形を
おかくら

花雙 中未 花の形を
花の形を

山吹草 中未 花の形を
山吹草

いろくま 初中 花の形を
いろくま

椀草 中未 花の形を
椀草

八重草 中未 花の形を
八重草

他偷草 中未 花の形を
他偷草

花の形を
花の形を

花の形を
花の形を

花の形を
花の形を

花の形を
花の形を

花の形を
花の形を

花の形を
花の形を

花の形を
花の形を

花の形を
花の形を

花の形を
花の形を





芙蓉連 初 花白く正人等もよほり
あり根ハ葉のまじり

くもさうり 初中 花は紫と白の二種を
えんがのたより

つらつら 初中 花は紫と白の二種を
えんがのたより

春菊 中末 花形さくものごとくひん
みてむ中のまじり

紅芙蓉 中末 花形さくものごとくひん
みてむ中のまじり

蒲子草 中末 花は紫と白の二種を
えんがのたより

四二

おごま 中末 花形はくがのみよの
てく下さぐりて
咲はひらきさきさき

金風花 中末 花は紫と白の二種を
えんがのたより

りらすり 中末 花は紫と白の二種を
えんがのたより

強宿草 中末 花は紫と白の二種を
えんがのたより

若人花 中末 花は紫と白の二種を
えんがのたより







布衣袋草 花形丸くして花子
安良の形なり

心ハ一アズンブ咲

能言草 ありり葉の花
丁自キ如

眉化 花形まるいん

初ゆり 花はまこそひゆり花

さきサハハ寸ぶんたのゆりとも
ハヤヒとハヤハあり

教女草 ありり葉
花は丸くして花子

春すのゆり 花は丸くして花子

花枝子 花は丸くして花子

ありのゆり 花は丸くして花子

花枝子 花は丸くして花子

花枝子 花は丸くして花子



びん 草花形けしけり
夏人草 花のうしろをハシ
と人白ハシを二をわり

春蘭 花のうしろをハシ
花のうしろをハシ

節を花のうしろをハシ
花のうしろをハシ

四季杜若 花のうしろをハシ
花のうしろをハシ

九輪草 花のうしろをハシ
花のうしろをハシ

花のうしろをハシ
花のうしろをハシ

花のうしろをハシ
花のうしろをハシ

花のうしろをハシ
花のうしろをハシ

花のうしろをハシ
花のうしろをハシ

花のうしろをハシ
花のうしろをハシ

天南星 花のうしろをハシ
花のうしろをハシ

花のうしろをハシ
花のうしろをハシ

是迄春草をハシ終

△草花夏之部

花のうしろをハシ
花のうしろをハシ

○百合草のうしろ

花のうしろをハシ



夏す 中未 夏す 初 夏す 中 夏す 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

天目 中 天目 初 天目 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末

花 初 花 中 花 末



唐ゆり 初 花形ひさりのどくま
花ゆり 大ゆりよりういひあつ
葉丸くはまりり葉まきまどく
あつまるむ

焼ゆり 未 花丸まきーむをまき
ひまきまきまきまきまき
しては候時かひあてか

大ゆり 未 花形まきまきのゆりにかも
花まきまきまきまき
大のこまきまきまきまき

白八重 中未 花形おのゆりの八重れ
やまきまきまきまき
くまきまきまきまき

花形まきまきのゆりにかも
花まきまきまきまき
大のこまきまきまき

白八重 中未 花形おのゆりの八重れ
やまきまきまきまき
くまきまきまきまき

くまきまきまきまき
花まきまきまきまき
大のこまきまきまき

南蛮 初 花形くゆりと同まき
まきまきまきまき
まきまきまきまき

鬼ゆり 未 花丸まきまきまき
まきまきまきまき
まきまきまきまき

赤ゆり 未 花丸まきまきまき
まきまきまきまき
まきまきまきまき

白ゆり 中未 花形ゆりの白まき
まきまきまきまき
まきまきまきまき

花形ゆりの白まき
まきまきまきまき
まきまきまきまき

白ゆり 中未 花形ゆりの白まき
まきまきまきまき
まきまきまきまき

まきまきまきまき
花まきまきまきまき
大のこまきまきまき

中 花形まきまきのゆりにかも
花まきまきまきまき
大のこまきまきまき

花形まきまきのゆりにかも
花まきまきまきまき
大のこまきまきまき

花形まきまきのゆりにかも
花まきまきまきまき
大のこまきまきまき

花形まきまきのゆりにかも
花まきまきまきまき
大のこまきまきまき

花形まきまきのゆりにかも
花まきまきまきまき
大のこまきまきまき

花形まきまきのゆりにかも
花まきまきまきまき
大のこまきまきまき

花形まきまきのゆりにかも
花まきまきまきまき
大のこまきまきまき

中 花形まきまきのゆりにかも
花まきまきまきまき
大のこまきまきまき

花形まきまきのゆりにかも
花まきまきまきまき
大のこまきまきまき

花形まきまきのゆりにかも
花まきまきまきまき
大のこまきまきまき

花形まきまきのゆりにかも
花まきまきまきまき
大のこまきまきまき

花形まきまきのゆりにかも
花まきまきまきまき
大のこまきまきまき

花形まきまきのゆりにかも
花まきまきまきまき
大のこまきまきまき

花形まきまきのゆりにかも
花まきまきまきまき
大のこまきまきまき

花形まきまきのゆりにかも

○ 桔梗ゆり 花形まきまきのゆりにかも

四ノ八



わらわさ(さけ) 花ちりりんま直
扇子栴枝ひくもたす
そ形扇子のどくし又まま
九キハむ七葩八葩のほほと年
形

白銀玉ふく

白二をちりりん

くさ色 白銀玉のやうに
くさ色 白銀玉のやうに

白ぐんひ 中末 かんひのりひ

かん 白 白き花よはるのまじ
仁花 と び入わり

牡丹 花 散らうし 花 散らうし

りりん 花 散らうし

白銀玉 花 散らうし

秋初末 花 散らうし

白ぐんひ 中末 かんひのりひ

初中 花 散らうし

白乃 花 散らうし

様節 花 散らうし

白乃 花 散らうし

○ 関雉 花 散らうし

白乃 花 散らうし

初中 花 散らうし

黒節 花 散らうし

様節 花 散らうし

白乃 花 散らうし

初中 花 散らうし

ひまわり 初中 ひまわり 初中

かき 未 かき 未

ま 初中 ま 初中

あや 初中 あや 初中

あ 初中 あ 初中

あ 初中

セシヤウハナミと植ルルハナハ花十色十又ハナ又ハナニ咲ク
ルニあるゆハ花葉の向ハナリキ年乃ハ花の種子ハ
ナリキ名ナリキハナハ年名と定テ植ルルハ花と定テ

○石竹の多し 初中

す 初中 す 初中

白 未 白 未

あ 初中 あ 初中

路 初中 路 初中

お 初中 お 初中

牡丹 初中 牡丹 初中

東 初中 東 初中

け 初中 け 初中

○芙蓉の多し 中未

郭 初中 郭 初中

武 初中 武 初中

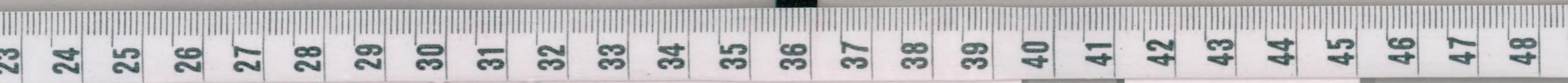
花 初中 花 初中

江 初中 江 初中

法 初中 法 初中

わ 初中

わ 初中



花壇地錦抄

四十一

茶蘭 茶ハ仙葉ニ似たり
花形ハ蕪ノ穂ノ少似シ葉を
あり故ニ仰ガハ葉香ニ似
ク空所ニ葉香するヨリ大蘭
又ニ云々

瓜蘭 葉ハミトククセニセリ
竹ノ枝ニ花ヲ中ニつて葉ニ
風と切て葉ニ似ル

春蘭 葉ハミトククセニセリ
花ハミトククセニセリ

ばえ 葉ハミトククセニセリ
花ハミトククセニセリ

菅蒲蘭 花ハミトククセニセリ
花ハミトククセニセリ

石蘭 葉ハミトククセニセリ
花ハミトククセニセリ

水仙 葉ハミトククセニセリ
花ハミトククセニセリ

水仙 葉ハミトククセニセリ
花ハミトククセニセリ

日光蘭 葉ハミトククセニセリ
花ハミトククセニセリ

時珍曰其葉似蘭大キ其花似
三葉也故名俗稱物之大者焉
馬云云

紫蘭 葉ハミトククセニセリ
花ハミトククセニセリ

黄蘭 葉ハミトククセニセリ
花ハミトククセニセリ

○花菖蒲

花菖蒲 葉ハミトククセニセリ
花ハミトククセニセリ

白 葉ハミトククセニセリ
花ハミトククセニセリ

花菖蒲 葉ハミトククセニセリ
花ハミトククセニセリ

白蘭 葉ハミトククセニセリ
花ハミトククセニセリ

花菖蒲 葉ハミトククセニセリ
花ハミトククセニセリ

白 葉ハミトククセニセリ
花ハミトククセニセリ

四十二











あぶらごころの 入種 夏 初中

あぶらごころの 夏もあまも

あぶらごころの 夏もあまも

あぶらごころの 夏もあまも

あぶらごころの 夏もあまも

あぶらごころの 夏もあまも

あぶらごころの 夏もあまも

あぶらごころの 夏もあまも

あぶらごころの 夏もあまも

あぶらごころの 夏もあまも

あぶらごころの 夏もあまも

あぶらごころの 夏もあまも

あぶらごころの 夏もあまも

四十七

ガラス使用

あし孫葉 あし 文初
花びらうき
あつた大まきく
花の切込
花びらうきこの葉あつた

紅いおき 文中
花の切込
花の切込
花の切込

森の下 文中
花の切込
花の切込
花の切込

白うら 文中
花の切込
花の切込
花の切込

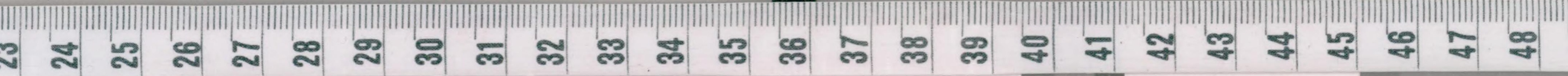
おの葉 文中
花の切込
花の切込
花の切込

大いおき 文中
花の切込
花の切込
花の切込

立葵 文中
花の切込
花の切込
花の切込

村千香 文中
花の切込
花の切込
花の切込

えんおき 文中
花の切込
花の切込
花の切込



水菜のり

えりくえん どうきんのか
天竺蓮 りてきんかき
万葉あまのり

色もろくすし

紫が子

花はれまの
まきつりしもの
かうりひひ

みか甲らるるのあいのあま
えんれまのり

新彼所 白のりま
白のりま

唐のり

唐のり
唐のり

水菜のり
水菜のり

唐のり

水菜のり

唐のり

唐のり

唐のり
唐のり

白六葉

かさろがてこの
おやう花白
かうりひひ

年平お母元

○ととと水菜のり

白食芽

白のり
白のり

白食芽

白食芽

白食芽

白食芽

薄

薄
薄

薄
薄

薄
薄

薄
薄

物解芽

物解芽
物解芽

物解芽

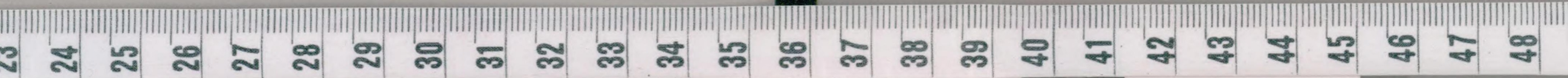
物解芽



国立国会図書館 タイトル『花壇地錦抄 6巻』 請求記号 特1-2921

ガラス使用











八 春未及初
花形杜若の
二形あり

白 花も葉も草もあてま
紅 花も葉も草もあてま
白 花も葉も草もあてま

中未 花も葉も草もあてま
花も葉も草もあてま

未 花も葉も草もあてま
花も葉も草もあてま

花も葉も草もあてま
花も葉も草もあてま

萱草 花形百合のごとく
花も葉も草もあてま

草のりあやふ洋又本草
萱草煮食ハ安五膳令人
好歡樂無憂輕身明目

草のりあやふ洋又本草
萱草煮食ハ安五膳令人
好歡樂無憂輕身明目

草のりあやふ洋又本草
萱草煮食ハ安五膳令人
好歡樂無憂輕身明目

唐えい 中末 花のうらみはくちやう
あつた仙のこくくなすやん
とら 天門のまふとら

唐相 未初 花のうらみはくちやう
あつた仙のこくくなすやん
とら 天門のまふとら

花の相のやうにたらのひて
おまらう三回入也のそれあり
あつた仙のこくくなすやん
とら 天門のまふとら

下野 初 花のうらみはくちやう
あつた仙のこくくなすやん
とら 天門のまふとら

南米野 中 花のうらみはくちやう
あつた仙のこくくなすやん
とら 天門のまふとら

四十七五

てわりの花のうらみはくちやう
あつた仙のこくくなすやん
とら 天門のまふとら

甘き 初 花のうらみはくちやう
あつた仙のこくくなすやん
とら 天門のまふとら

淡盛 初 花のうらみはくちやう
あつた仙のこくくなすやん
とら 天門のまふとら

林府 初 花のうらみはくちやう
あつた仙のこくくなすやん
とら 天門のまふとら

茶後林府 初 花のうらみはくちやう
あつた仙のこくくなすやん
とら 天門のまふとら

夏 未 花のうらみはくちやう
あつた仙のこくくなすやん
とら 天門のまふとら

初 初 花のうらみはくちやう
あつた仙のこくくなすやん
とら 天門のまふとら

其 初 花のうらみはくちやう
あつた仙のこくくなすやん
とら 天門のまふとら

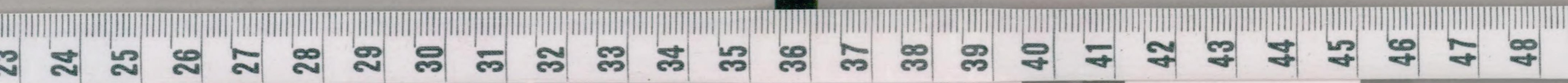
花 初 花のうらみはくちやう
あつた仙のこくくなすやん
とら 天門のまふとら

初 初 花のうらみはくちやう
あつた仙のこくくなすやん
とら 天門のまふとら

未 未 花のうらみはくちやう
あつた仙のこくくなすやん
とら 天門のまふとら

初 初 花のうらみはくちやう
あつた仙のこくくなすやん
とら 天門のまふとら

四十七六



車三 初 花の形は三つありて花
車系は三つありて花

中未 花の形は三つありて花
のひびき

本香 中 花の形は三つありて花
根は葉のりからく

げんげ草 初 花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

中 花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

未 花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

中 花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

未 花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

中未 花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

大坂ひわ 中未 花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

花の形は三つありて花
葉は葉のりからく

○おぢりし 夏末より秋

白わさぶ 蔓よかきつるあ
さかやこま白し

浅黄わさぶ あまきこま

二葉おぢり ろうりえんあま
さきとせし

系二葉 おぢりえんあま
さきとせし

白ひらぶ あま白ちんね
おぢりえんあま

ありひら あま白ちんね
おぢりえんあま

赤あさ あまあさ

るりおぢり ろうりえんあ
ま

あま あまあさ

似く あまあさ

赤あ あまあさ

南赤 あまあさ

桔梗 あまあさ

と中 あまあさ

草 あまあさ

石 あまあさ

初 あまあさ

本 あまあさ

夕 あまあさ

虎 あまあさ

二 あまあさ

秋 あまあさ

梅 あまあさ

芭 あまあさ

如 あまあさ

漢切し 系ハ行のどくを白くして白くあり

○甘藷のろし 初中

夏秋論 花黄及中

水揚妃 白くちんが

黄水揚 花形すくひれ

水揚 さくろつろ

玉牡丹 花形すくひれ

砂金 秋さくのまやさん

たいふ 花形すくひれ

小袋 花形すくひれ

花流河 花及中

あり 花形すくひれ

黄太白 花及中

さい 花及中

黄一文字 花及中

あり 花及中

南家 花及中

ほ 花及中

南家寺 花及中

あり 花及中

黄太白 花及中

黄心 花及中

蓮花 花及中

唐蓮 花及中

金葉藥蓮 らんちん 薬分秋
本蓮より花より花
もく今更の初あり

小蓮花 とれんガ 中未
花白やうん花あ水あ
のどくあつてく

白水 とろが 秋初中
花形花を白

花白 おひごく 夜未
花白に葩のてまはげ

花白 くろく
花白に葩のてまはげ

花白 い
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

日星草 か
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

四ノ二平ガ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

花白 花白に葩のてまはげ
花白に葩のてまはげ

種名石菖 種名石菖
種名石菖 種名石菖
種名石菖 種名石菖

唐石菖 唐石菖
唐石菖 唐石菖
唐石菖 唐石菖

サ麦 サ麦
サ麦 サ麦
サ麦 サ麦

稻 稻
稻 稻
稻 稻

東石菖 東石菖
東石菖 東石菖
東石菖 東石菖

琉球 琉球
琉球 琉球
琉球 琉球

蛇床 蛇床
蛇床 蛇床
蛇床 蛇床

蛭床 蛭床
蛭床 蛭床
蛭床 蛭床

カサ カサ
カサ カサ
カサ カサ

杜若乃多 杜若乃多
物中

杜若乃多 杜若乃多
杜若乃多 杜若乃多
杜若乃多 杜若乃多

橋那 橋那
橋那 橋那
橋那 橋那

白 白
白 白
白 白

白 白
白 白
白 白

羅生 羅生
羅生 羅生
羅生 羅生

村 村
村 村
村 村

浮 浮
浮 浮
浮 浮

四季 四季
四季 四季
四季 四季

白 白
白 白
白 白

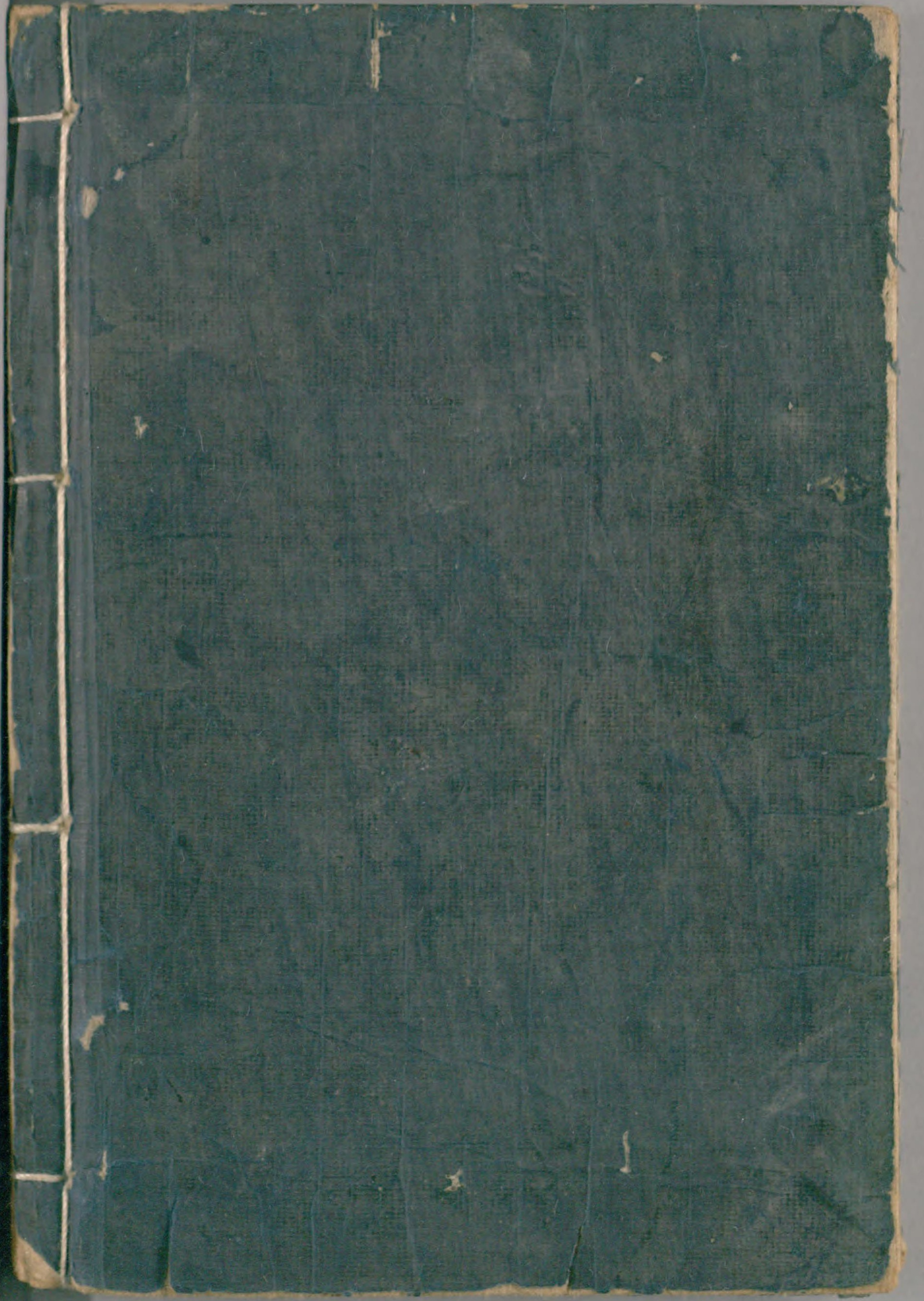
特1
2921

うきや
いふ
八橋
つ
た
心
た

水芳の終

八龍





国立国会図書館

タイトル『花壇地錦抄 6巻』 請求記号 特1-2921

ガラス使用